



「私の生き方連絡ノート」のご提案

治療の選択

事前指示とは？

三浦 靖彦  
医療法人財団 慈生会 野村病院 副院長

昏睡状態や植物状態、重度の認知症・脳卒中、末期癌などで、自分の受ける医療行為について、自分自身で決められなくなってしまうことがよくあります。そのときに備えて、意識がはっきりしているうちに、自分の受けたい、または受けたくない医療行為についての希望を、あらかじめ表明しておくことを「事前指示」といいます。

例えば、「癌の末期状態であるが、この先、自分の意思を表明できなくなったとしても、痛みを抑える治療は十分して欲しいが、いわゆる延命治療はして欲しくない」と文書にして残しておく「肺の病気(慢性呼吸不全)で通院中だが、病気が悪化したときは、人工呼吸を含め、考え得るすべての医療行為を行ってほしいと、配偶者に伝えておく」「具体的な医療行為はわからないが、自分が判断能力のない病状に陥ってしまったら、自分に行われる医療行為に関するすべての決定権をAという人物に任せると、指示しておく」などがあげられます。

このような希望を文書にしたものを「事前指示書(リビング・ウィル)」といいます※。

今の日本では、他のいくつかの国や地域と違い、事前指示に法的拘束力がありませんので、必ずその通りにできるとは限りません。家族が事前指示に反対することにより、患者さんの指示通りに実行できない場合もありますし、指示内容通りにすることによって法的な問題が生じるおそれがある場合、医療サイドが躊躇することもあります。

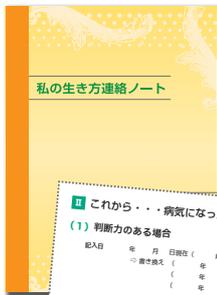
しかし、日本でも、医療に関する幾つかのガイドラインの中で、「主治医や家族が、治療方針を決定する場合においても、患者さん本人の事前指示による内容を尊重しながら、話し合っていくことの大切さ」が強調されています。

※事前指示書には、尊厳死の宣言書、意思表示書など多くの呼び方、書式があります。「私の生き方連絡ノート」は、事前指示も含んだ、より幅の広いものに仕上げられていますので、どうかご覧になってみてください。

好評既刊 忽ち増刷!

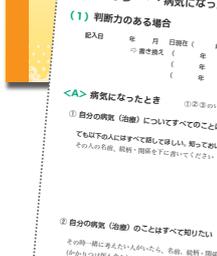
「私の生き方連絡ノート」

自分らしい「生き」「死に」を考える会 編



ISBN 978-4903320182  
2010年7月発行  
仕様：B5判型、16頁  
価格：483円(税込)

記入式



詳しくはホームページをご覧ください  
<http://www.ikisini.com/>

読売新聞や日経新聞、雑誌などでも紹介されました!!

人の生き方が様々なように、その人によって人生最期の捉え方も様々です。突然の事故や病気、認知症などで判断力がなくなったとき、家族や周囲の人たちが困惑しないように、あなたの人生の来し方・これから(希望する治療など)をこのノートに記録しておくことができます。

【書籍購入のご案内】

下記の記入欄にご明記のうえ、「ファックス」または「電子メール」でお送りください。「弊社ホームページ(editex.jp/)」でも、ご注文いただけます。また、お近くの「書店」「ネット書店」にてお取り寄せ、お買い求めいただけます。

▶送料… 全国一律350円(レターパック350・郵便受箱へ配達) ※部数が多い場合は、宅配便でのお届けとなります。

▶お支払い方法… 商品に同封の郵便振替用紙にてお振込ください(後払い)。銀行振込もお受けしております。金融機関の振込手数料は、お客様負担でお願い申し上げます。

お名前：

お届け先：

ご連絡先電話番号またはメールアドレス：

ご希望数： 私の生き方連絡ノート 冊



FAX 送付先： **03-5805-6051**

電子メール： [info@editex.jp](mailto:info@editex.jp)